

No.29 奈良県・奈良市（奈良伝統工芸産地留学事業）

地域力創造アドバイザー	大牧 圭吾氏（A462）
活用分野	地域人材の情報発信力の向上と、地場産業の後継者の発掘・育成
活用期間（頻度）	令和6年度（月2～3回程度）
キーワード	# 伝統工芸 # 産地留学 # 一刀彫 # 奈良人形 # 後継者育成 # インターンシップ # 進路選択 # 仕事体験 # 工房見学

【目的】

本市の伝統工芸は、ライフスタイルの変化による需要の減少などに伴い、後継者不足が深刻化しており、工芸作家を志す者や伝統工芸に関心を持つ学生等の発掘を通じて、後継者の確保が求められている。

本事業は、全国から後継候補者を募り、産地留学を実施し、工房主や若手工芸作家と交流する機会を提供することで、平成18年から実施している奈良伝統工芸後継者育成研修の円滑化や工房主の受入体制の整備を目的とする。

【内容】

- （工房主向け）合同説明会の実施
- 受入先工房主の決定
- 参加者の募集・選定
- 産地留学の実施



（工房見学の様子）



（仕事体験の様子）

【成果（見込み）】

- 市内工房主等に対し、奈良伝統工芸産地留学事業の合同説明会を実施し、現地オンライン含め7名の工房主が参加。後継候補者の専攻分野に偏りが出ないように、受入先を『奈良一刀彫』に絞り、産地留学を実施。
- 後継候補者となり得る人材を全国から募集を行ったところ、47名の応募があり、書類選考及びオンライン面談により、6名を決定。
- 奈良一刀彫作家2名の工房見学や、座談会、仕事体験等を中心に2泊3日の産地留学を実施。作家を目指す後継候補者と後継者を求める産地のマッチングを行った。